

# 知道 CHIDO-KAIHO 会報

# 66

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内  
発行人 西野虎之介  
発行日 平成17年5月15日  
通巻 第66号  
メール info@chidokai.jp

|    |           |                   |   |
|----|-----------|-------------------|---|
| 目次 | 企画        | 職業観今昔             | 2 |
|    | 一高だより     | 大学入試、職員異動状況、卒業生褒賞 | 4 |
|    | 同窓会・支部だより | 城址会卒業60周年同窓会ほか    | 6 |
|    | PERSON    | 知道会本部勇退者          | 7 |

## 第6回会員の集い盛大に

平成16年11月6日(日)午後2時から、「第6回知道会会員の集い」が、常陽藝文センターにおいて約200名の参加者のもと、盛大に開催されました。

「集い」は3部に分かれ、第1部では、東京大学東洋文化研究所教授の平勢隆郎氏(昭48卒)が「孔子に関する不可解な伝説」と題した特別講演を行いました。孔子の生きた都市国家の状況など、興味深いお話しをうかがうことができました。

第2部はミニコンサート。ギタリストの飯泉昌宏氏(昭58卒)がアルゼンチンタンゴの魅力をギターで紹介し、ピアソラの「忘却」や「リベルタンゴ」などの演奏に大きな拍手が送られました。

第3部は、黒木雅宏氏(昭58卒)の司会によりにぎやかに懇親会が行われました。西野会長、稲葉校長のあいさつをいただいた後に乾杯から歓談に入り、最後は参加者全員が校歌を斉唱して散会となりました。



飯泉昌宏氏のミニコンサート



和やかに盛大に行われた会員の集い



代議員会議

### 代議員会議報告 54期予算など決定

平成16年度(第56期)の代議員会議が、平成16年11月6日(日)午後1時から常陽藝文センターで開催され、常任幹事をはじめ、学年・地域・職域代議員あわせて80名が出席しました。

会の冒頭、物故者に対する黙祷が行われ、続いて西野会長と稲葉学校長があいさつ。山形幹事長、長谷川財務委員長の説明により、第54期(平成16年10月1日から平成17年9月30日まで)の事業計画や予算が決定されました。今後の課題としては、年会費の納入促進があげられました。

最後に、後藤教頭(昭43卒)から「卒業生データベース」の創設についての説明がありました。これは、在校生が多様な

職種において活躍している卒業生のデータベースを活用して進路や職業選択に役立てようというものです。

なお、予算、決算は下表のとおりです。

### 会計報告

第53期 H15.10.1 ~ H16.9.30  
第54期 H16.10.1 ~ H17.9.30

| 項目          | 53期決算額     | 54期予算額     |
|-------------|------------|------------|
| <b>収入の部</b> |            |            |
| 収入合計        | 12,817,272 | 11,871,924 |
| 年会費         | 10,390,000 | 11,000,000 |
| 寄付金         | 3,000      | 0          |
| 預金利息        | 27         | 30         |
| 入会金会計より繰入   | 2,000,000  | 0          |
| 前期繰越金       | 424,245    | 871,894    |
| <b>支出の部</b> |            |            |
| 支出合計        | 12,817,272 | 11,871,924 |
| 運営費         | 8,318,097  | 8,030,000  |
| 会員の集い費      | 682,103    | 700,000    |
| 会議費         | 143,267    | 150,000    |
| 事務局運営費      | 2,645,487  | 2,000,000  |
| 通信費         | 3,378,211  | 3,500,000  |
| 消耗品費        | 77,918     | 100,000    |
| 旅費交通費       | 98,110     | 150,000    |
| 渉外費         | 118,270    | 150,000    |
| 支部強化費       | 430,000    | 450,000    |
| 振替手数料       | 355,940    | 380,000    |
| 年会費徴収費      | 198,059    | 200,000    |
| リース料        | 190,732    | 250,000    |
| 事業費         | 3,627,281  | 3,620,000  |
| 母校助成費       | 437,405    | 450,000    |
| 総務委員会費      | 40,000     | 40,000     |
| 財務委員会費      | 20,000     | 20,000     |
| 広報委員会費      | 2,619,876  | 2,800,000  |
| 名簿委員会費      | 10,000     | 10,000     |
| 親睦委員会費      | 500,000    | 300,000    |
| 予備費         | 0          | 221,924    |

# 人生において「職業」って何だ？金か、生きがいか？

厚生労働省等の発表によると、現在、フリーターの数は400万人超、さらにニート（NEET、働いておらず、学校にも行かず、職業訓練受講など就職に向けた具体的な動きをしていない若年者）も50万人を超えており、単なる労働力市場の構造変化に留まらない広範囲の社会現象として認知されつつある。今回は、OBと現役それぞれの職業観を披露していただき職業とは何かを考えるとともに、「人材の宝庫」知道会として、このような状況の中後輩達のために何ができるのかを探った。

### 自分の将来と職業を考える

**永井** 現役の生徒さん達は、社会人とふれ合う機会があるんですか。

**三村** 社会人インタビューとして、実際に働いている方から分野ごとに話を伺うという行事を一年生対象に実施しています。二年生時には、大学の先生をお呼びして模擬講義というのも行っています。

**永井** 一高は大学進学率が100%近いから、進路指導としてはどうしても「まずは、大学」というところがあるんでしょうね。

現役の皆さんは、自分の将来をどんなふうで考えているのかな。

**石川** 世代の代表的な意見かどうかはわかりませんが、お金はあくまで手段であって、やはり基本は自分の興味、関心がある分野でというように考えています。

例えば、個人的に現在一番興味があるのはイギリスですので、将来的にはイギリスに関連した仕事ができればというのが希望です。

**澤幡** 私は、医者になりたいと思っています。小さい頃に病気でとてもお世話になったことがあって、そのときから考えていました。現在勉強しているのも、夢を実現するためのプロセスということになります。仕事は自分のやりたいことをやるべきだと考えています。お金は結果として後からついてくるものじゃないでしょうか。

**永井** お二人が話してくれたのはひとつの「答」だと思うんだけど、僕が若い頃にはこういう答は出ていなかったな。学校を出た頃には、企業も少なくて選択肢なんてあまりなかったし、あまり大きな夢を持つ環境じゃなかった。今の若い人全般と比べると、その意味では逆に少し現実的だったという言い方もできると思う。

基本的に僕は、人生と職業はイコールで結ばれるものだと思う。自分の人生の在り方を表現するのが職業だと。人生とは何かを尋ねると澤幡さんなら医者だって答えられるでしょう。それは「医者」という職業を通して自分の人生づくりができるということだ。

**薄井** 私はまだはっきりした夢を持っているわけではないのですが、将来社会の一員とし

て役割を果たしていけるようになりたいと思っています。現在はそのための準備期間というか、エネルギーをためている時期だと捉えています。

ニートと呼ばれる人たちの中には、挫折から自分を追い込んでしまって、本当の能力をうまく使うことができないでいる方もいるんじゃないかと思います。勉強も勿論大切ですが、それを活かしていく方向性を見つけることも自分に必要なんじゃないかと。

### 本領は実社会での活躍・貢献にあり

**永井** 確かに方向性は大切だね。さっき僕は大きな夢がなかった、という話をしたかと思うけれど、小さな夢はたくさんあった。すぐ手が届く夢を目標にがんばる、そんなやり方でうまくいできたような気がする。

結局のところ、ニートの問題は、日本の国の在り様が表れているんだと思うんだよね。行政の問題、産業の問題、教育の問題、様々な側面にまたがってはいるけれど、効率ばかり追い求めて人のところが希薄になってしまった結果だ。だから、それを個々の資質の問題として処理するのではなく、社会全体が何を、いつ失ってしまったのか、どうしたらそれを取り戻せるのか、よく考える必要がある。

**秋山** 教育の現場にいて感じるのは、よく言われる話ですが、子供達が人と関わる機会が極めて少ないということです。特に、一高に入学してくるような生徒は能力は持ち合わせているので、人間関係の在り方を教えていく機会の方に重要性を感じます。

**三村** 高校における教育の評価は、結局のところ進学率という数字で計られてしまうわけですが、本当はその先にある社会の中での評価を重視すべきなのかもしれないですね。

**永井** 我々OBも、水戸一高の本領は実社会でどういう活躍・貢献をしているかだと考えています。この人材を見ろ、これが水戸一高の力だ、と。

**秋山** 現在、知道会の会員の皆様方の御協力



石川 大智君（現役3年生）



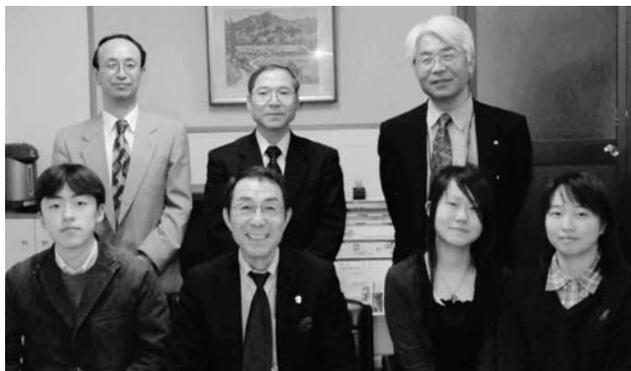
薄井 寛子さん（現役2年生）



澤幡 麻佑子さん（現役2年生）

## 出席者

永井 靖彦 (昭35卒 知道会幹事長)  
秋山 久行 (昭46卒 教頭)  
三村 千春 (進路指導部長)  
石川 大智 (現役3年生 生徒会会長)  
澤幡 麻佑子 (現役2年生 生徒会副会長)  
薄井 寛子 (現役2年生 生徒会副会長)



職業観について自由に意見を交換しあった皆さん

をいただいて、OBの方たちが社会でどういう活躍をされているのかといったデータベースを作るプランがあります。現役の生徒がこれを見て、自分が就きたい職業の先輩に連絡し、いろいろな情報やアドバイスをもらえる、という趣旨のものです。

先程お話にも出ましたように、これまでの進路指導はどうしても大学に関する情報に偏りがちだったところがあるのですが、今後はその先にあるビジョンを提示していく必要があると思うのです。高校における教育への評価も、より広い意味での社会への貢献度という観点からなされるべきであると。

知道会人材データベースは、まさにその意味で水戸一高のすばらしさを明らかにするものだと考えています。

## 先輩の体験や専門分野のお話を

**澤幡** もしそんなデータベースがあったら、是非多くの方の話聞かせていただければと思います。いろんな方の体験を聞いた方が、自分の夢の幅が広がると思いますし。

**薄井** 私は先程お話したとおり、まだ夢がはっきりとしていません。ですから、逆にいつごろ将来のことを決めなければならないのか、どうしてその職業を選ぶのか、といったことの方が気になります。もしOBの方にお話が聞けるとして、そ



永井 靖彦さん (昭35卒)

## 卒業生データベースの構築について

知道会の皆様方には、日頃から本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今の高校生は、幼少の頃から野山を駆け回り、動植物と身近に接したり、怪我をしたりするとか、また、異年齢集団での行動を通して、小さな縦社会を経験したりするといった体験が少ないことから、どことなく小さくまとまっているように感じられます。このような様相は本校生にも見られ、何らかの機会を設けることにより、多様な見方や考え方を身に付けた視野の広い、そして、豊かな人間性をもった大きな人間に成長することを期待しております。このようなことから、学校としましては、社会におきまして多方面で活躍されております先輩方から、具体的に体験できないまでも、今後の進路や生き方の参考になるよう、体験談や仕事に関するお話を通して、人間としての在り方生き方等についてアドバイスをいただけるような機会を設定できないものかと考えておりました。

このような中、この度、知道会におきまして、上述の機会設定にご協力できる卒業生のデータバンクを構築することが決定されましたこと、大変喜ばしく期待しているところであります。今後、この貴重なデータを活用し、多くの生徒たちが普段の授業では学習できないような知識や考え方を身に付け、将来への大きな展望をもって自己実現を図っていただけるものと期待しております。

データベース構築に向けた具体的な方法等につきまして、急ぎシステム化を図っていただき、早期に活用できますようお願い申し上げます。今後とも本校の活性化にお力添えをいただきたく、重ねてお願い申し上げます。

(教頭 秋山)



三村 千春部長



秋山 久行教頭 (昭46卒)

ういう漠然としたものでもいいのでしょうか。

**永井** 何でも聞いてみたらいいと思う。もともと知道会はただのOBの会合ではなくて、いかにして母校である水戸一高に関わっていくか、貢献していけるかというスタンスを大事にしている。我々OBとしても、自分の体験や専門分野の話が皆さんのためになるのならば、喜んで話しますよ。

**石川** その節は是非よろしくお願ひします。

# EVENTS

平成16年10月から平成17年4月  
までの記録

## 10月

- 5日 財務委員会開催
- 6日 にさし会同窓会
- 12日 第53期決算監査
- 14日 委員長会議開催
- 6日 水戸・東京知道会交流会
- 16日 日立知道会総会
- 16～17日 水戸一高歩く会  
(東海コース)

23日 知道会幹事会

23日 石岡・八郷知道会総会

## 11月

6日 知道会代議員会議及び会  
員の集い

6日 昭和58年卒業同窓会

7日 昭和19年卒業同窓会

7日 常陸太田知道会設立総会

20日 昭和33年卒業同窓会

27日 瓜連知道会総会

## 12月

3日 総務委員会

5日 西日本水中・一高会総会

10日 委員長会議

13日 財務委員会

## 1月

2日 昭和39年卒業(ありが  
とう会)同窓会

21日 財務委員会

## 2月

7日 知道会幹事会

26日 東京知道会同窓の集い

## 3月

1日 水戸一高卒業式

4日 昭和34年卒業同窓会

12日 昭和40年卒業同窓会

20日 茨城町知道会総会

30日 広報委員会

## 4月

7日 水戸一高入学式

8日 定期異動歓迎会

8日 笠間知道会総会

9日 水戸桜山知道会総会

17日 水戸みつば知道会総会

17日 水戸下市知道会総会

19日 会員の集い実行委員会

# 一高だより

## 新任のごあいさつ

## 本校の在るべき姿を 求め努力



学校長 植木行宏

この度の平成17年度定期異動により、輝かしい伝統と校風を持つ母校に、卒業して40年ぶりに緑岡高等学校から赴任し、身の引き締まる気持ちです。

戦国時代の歴史を刻む佐竹(水戸)城の城址の高台にたたずむ恵まれた素晴らしい学習環境の下で、若さと情熱に溢れる先生とキラキラと輝く目を持った生徒たちに囲まれ、共に学ぶことが出来ますことに、大変嬉しく希望に胸膨らませています。

前任者の校長先生始め、先輩のOBの諸先生方、現在勤務されている先生方や生徒たちが営々と築かれました素晴らしい教育環境と、輝かしい伝統と校風を引き継ぎ、これから「時代を超えても変わらないもの不易」と「時代と共に変化していくもの流行」の調和を図り、将来の水戸一高の在るべき姿を求め、微力ながら一生懸命汗を流していきたいと思えます。

これから本校の先生方の持つ素晴らしい個性と英知に支えられながら、職員たちの和とスクラムを組み、協働作業を進め、生徒理解に努め、創意と工夫を生かして、生徒の秘めた可能性を伸ばすために日々努力して参りたいと思えます。また、自らの熱い思いを生徒の皆さんに語りながら、情熱とロ

マンをもって、本校の明日の教育に立ち向かって参りたいと思えますので、前任者同様よろしくお願い致します。

## お礼のごあいさつ

## 成長する生徒たちに 感謝し期待



前校長 稲葉節生

この3月、3年間勤めさせていただきました母校水戸一高を定年退職いたしました。この間、知道会には、毎年恒例の歩く会や卒業式等の学校行事において物心両面にわたり多くの御支援、御協力をいただきましたこと、そして何よりも、日頃から西野会長はじめ多くの知道会員の皆様から、熱い応援や激励をいただきましたこと心から御礼を申し上げます。

振り返りますと、平成14年12月には、第二代目の本城橋が開通しました。また、15年4月の入学生をもって本校の3学年を合わせた生徒数は960名となり、昭和14年からの1,000人を割りました。平成16年10月の第56回歩く会は、いわゆる東海コースでしたが、台風が直撃するという予報のもとに、前日に延期を決定し、1週間後に無事実施。これらのことは、3年後に、創立130周年を迎える水戸一高の歴史の一部にあるいは記される一つの史実であるかと思えます。

『自己の目標の実現を目指し、社会性と自己決定力を身に付け、社会に貢献できる人材』、これは「至誠一貫」「堅

# 一高だより



西野会長が50人を表彰

忍力行」の校是を基本として、平成16年のはじめに定めた、本校の「目指す生徒像」です。将来の知道会を背負って立つ若者が、必ずや育っていくと確信しています。

生徒たちに、彼らが水戸一高生としての「誇り」と「自信」をしっかりと持つことを期待し続け、そして、彼らはいつも新鮮に成長する姿を見せてくれました。母校水戸一高の生徒たちにあらためて心から感謝します。

最後になりますが、知道会の益々の御発展と水戸一高の新たなる躍動を祈念いたしまして御礼の御挨拶といたします。

## 50人に知道会会長褒賞

平成17年3月1日の卒業式当日に、知道会褒賞制度の規定により新卒業生50人が西野会長より表彰を受けた。受賞者は次のとおり。

(31組) 秋山啓太、菊池瑛理佳、濱岡真由、林洋志、藤田雅久、三田部高志、湊健太郎、村上貴浩

(32組) 櫻井洵子

(33組) 秋山沙織、安齋祐美、岡祐記、川島新、北澤佑子、櫛田康晴、益子美由希、脇田菜摘、鷺津寿弥

(34組) 小林且弥、赵然、林秀和

(35組) 荒川沙織、五十嵐奈美子、市川寛也、川澄民樹、鈴木梨恵、根本さおり、萩野谷早紀、林田美沙、藤田康彦、諸戸豪

(36組) 阿内秀人、小川瞳、日渡健介

(37組) 伊藤舞、北村守、三枝万里子、鈴木苗苗美、南部麻衣、橋浦宗志、前澤祐樹

(38組) 櫻井麻理、佐藤陽介、志賀真理恵、須藤由貴、田口綾子、徳宿道子、萩谷友美、南慶吾、北見達哉

## 平成17年度定期人事異動

次の方々が異動された。(カッコ内は教科及び本校在籍年数)

### 1 転出

後藤克己(教頭、3年) 笠間高へ  
谷萩紀行(英語、10年) 日立一高へ  
豊崎利明(数学、10年) 土浦湖北高へ  
柏雄司(社会、13年) 小瀬高へ  
鈴木一弘(社会、6年) 高校教育課へ  
大森隆男(体育、8年) 水戸農高へ

### 2 転入

植木行宏(校長) 緑岡高から  
秋山久行(教頭) 大宮高から  
岡崎賢治(教頭) 日立一高から  
井坂敏行(数学) 太田一高から  
石井伸一(社会) 日立一高から  
正木昇(英語) 石岡二高から  
深澤美紀代(理科) 八郷高から  
寺崎理香(社会) 牛久栄進高から  
関根悟(体育) 潮来高から  
安藤暢子(家庭) 大洗高から  
南指原浩信(数学) 取手一高から  
川久保典昭(社会) 磯原高から  
秋山留美(英語) 日立商高から  
三次綾(実習助手) 山方商高から

### 3 退職

稲葉節生(校長、3年)  
佐々木悦子(実習助手、1年)  
奈良惇(非常勤講師、社会、1年)  
木内富美子(非常勤講師、家庭、1年)

## 大学入試の状況

国立大学の法人化に伴い、分離分割方式の見直しなどが検討されている。平成18年度からは、推薦やAO入試と前期日程を行い、後期日程を廃止する大学・学部がでてきた。

今年度の入試では、国公立大でのセンター試験の科目増(5教科7科目、6教科7科目)や教育学部における理科2科目などの動きは一段落し、生徒達は冷静に受け取って

たようであるが、次年度からの新課程入試への不安からか現役指向が非常に強かったようにみえる。

323名の卒業生は国立大学に101名が合格、私立大を含め203名が大学に進学した。実進率は62.8%で、一昨年が52.2%、昨年が56.9%であったことと比較しても、大きく増加している。

個々の大学をみると、筑波大学などで合格者の数を増やした。また、私大入試でも健闘した。

主な大学の合格者数を以下に記した。( )内は現役合格者数、昨年度との増減は▲▼で示した。

### ●国公立大学

|        |         |     |
|--------|---------|-----|
| 北海道大学  | 6 (2)   | ▼3  |
| 東北大学   | 20 (17) | ▼13 |
| 茨城大学   | 13 (11) | △2  |
| 筑波大学   | 30 (24) | △7  |
| 千葉大学   | 17 (10) | △1  |
| お茶の水大学 | 3 (2)   | △1  |
| 東京大学   | 13 (5)  | △2  |
| 東京外語大学 | 3 (3)   | ▼1  |
| 東京学芸大学 | 2 (2)   | ▼2  |
| 東京工業大学 | 2 (1)   | ▼5  |
| 一橋大学   | 8 (5)   | 0   |
| 横浜国立大学 | 11 (5)  | ▼1  |
| 京都大学   | 6 (2)   | ▼2  |
| 首都大学東京 | 3 (2)   | ▼4  |

### ●私立大学

|        |         |     |
|--------|---------|-----|
| 青山学院大学 | 23 (12) | △2  |
| 慶応義塾大学 | 45 (25) | ▼2  |
| 上智大学   | 6 (2)   | ▼9  |
| 中央大学   | 56 (28) | △11 |
| 東京理科大学 | 69 (31) | ▼12 |
| 法政大学   | 16 (7)  | ▼5  |
| 明治大学   | 58 (25) | ▼14 |
| 立教大学   | 34 (20) | △6  |
| 早稲田大学  | 72 (37) | ▼27 |
| 立命館大学  | 33 (12) | △11 |

## 城址会卒業60周年同窓会

昭和19年卒同窓会である城址会は、毎年東京と地元と2回の同窓会を続けている。

東京城址会は平成16年7月4日、東天紅上野店に林藤夫、鹿志村盛の幹事を中心に地元からの参加者を含め46名が参集した。卒業して60年、定員250名の同窓のうちすでに96名が故人である。

林幹事の骨折りで「卒業60周年記念随想集・60年の遍歴を語る」が出版され、文集に皆感動した。

地元での城址会は11月7日、幹事の三上清一、深谷三郎、海老根義元、後藤卓三の呼びかけで、在京からの参加者を加え22名が知道会館に集合し、江山閣などを見学、その後大洗シーサイドホテルで懇親会を行った。一人一人が思い出を語り合い、和やかな一時を過ごした。

そして卒業60周年を記念し、知道会の「在校生士気高揚資金」に10万円、海老坪弘君の関係するスリランカの幼稚園に5万円を寄贈した。(後藤記)

## 33年卒三三会

平成16年11月20日(土)、33年卒の「三三会」総会が水戸3の丸ホテルで開催された。出席者は98名(うち女子3名)を数えた。なお、総会で役員の変更があり次期会長に小堀章雄氏(1組)が倉田信一氏(7組)から、その任を引き継ぎ就任した。

また、島津製作所専務、平戸正尚氏(2組)の講演があり経済情勢、製造業の役割など、第一線で活躍されている視点でのホットな内容にみな熱心に聞き入った。

ところで「三三会」の日頃の活動は、あくまで有志としてのものになるが、水戸地区で偶数月の3日に「3の日会」なる集いを持って



129名が集った33卒ありがとう会

いる。いつも30名以上の出席があり、33名を超えると歓喜の声上がる。在京組も、奇数月の第3金曜日に、30数名の集いを持って会員相互の親睦を図っている。また、毎年9月の第2木曜日に、在京、地元組合同の12組のコンペを笠間東洋ゴルフクラブで継続開催し、これまで11回を数えている。

なお、先の台風21、23号、中越地震の各被災地に対する義援金を、12月の水戸、在京の「3の日会」で賛同を得、それぞれ10万円を兵庫、新潟両県の日赤支部に寄付させていただいた。

さらにこのほど「三三会旗」を調製した。総会や水戸、在京の3の日会等で掲げ、意気軒昂たる所以のシンボルとしていきたい。

(4組大内紀典記)

## 卒業40周年「ありがとう会」

私たち昭和39年3月卒業生は、毎年1月2日午後3時から水戸京成ホテルにて同窓会を開催しています。会の名前は、39年卒業から名を取ってサンキュー会「ありがとう会」としています。

特に今回は、卒業40周年、且つ、還暦を迎えることもあって、早いうちからクラス幹事の打合せを密にし、又、在京39会の幹事にもご協力を得ました。その結果、129名の出席を得ました。母校からは後藤克己教頭先生、恩師大和田健児先生、藤田稔先生、中川健二先生、知

道会から大川英治局長のご出席を頂きました。

なお、今回は40周年を記念し、知道会へ在校生士気高揚資金として、40万円を寄付させて頂きました。又、記念誌もオールカラー版で読み応えのあるものが出来ました。

当日は、先生方や同級生である橋本知事の挨拶の他、アトラクションとして、同級生のみで編成された音楽グループ「ソーニーキャッスル」一茨城の意味ーが、カントリーウエスタンを演奏し、会が大変華やかなものとなりました。彼らは、第一線を離れ、時間が出来たため高校時代の仲間が集まり音楽を楽しんでいます。演奏中は、若さあふれる姿で、当時の学苑祭そのものでした。

これからも私たち「ありがとう会」は毎年1月2日、命のある限り続けていきたいと思っています。

(小野邦夫記)

## 笠間地区知道会総会

4月8日、笠間地区知道会、並びに昌道会の総会が開催されました。

来賓に、知事と知道会事務局長の大川氏をお迎えして、41名の参加者を得、盛大に懇親会を持つことができました。

会長、河村博先生は、知事への激励と知道会の益々の充実をとの挨拶をされました。

先輩、後輩ともども話が盛り上がり、夜の更けるのを忘れた次第でした。



笠間知道会

## 瓜連知道会

平成16年11月27日(土)、瓜連知道会第2回総会が開かれました。忘年会も兼ねて夕方からの開催でしたが、多数の参加を得て、賑やかに行うことができました。

今回は「黄門様の知恵袋ー人生の教訓」という講演会を催し、それに町内の歴史同好会の方々に参加を呼びかけました。

講師は、36年卒で水戸史学会の理事や事務局長をされている但野正廣先生で、講演も非常に興味深いものでしたが、懇親会での先生のお人柄による談論風発に誘われ、思い出話に花を咲かせることができました。さらには、始業の合図は今でもチリンチリンの鐘かとか、終戦時の青空教室では学校を焼失させた焼夷弾の空筒をたたいたもので笑えない喜劇であったとか、盡きぬ思い出に時の過ぎるのも忘れるほどでした。

最後に、ご教授いただいた黄門様の知恵の一つを

「無病延命の術ハ 鳥獣にならふに  
しくハなかるべし。鳥獣ハ 飢えて食し 飽いてやむ」(桃源遺事)



瓜連知道会



山形晴一さん



長谷川国雄さん



荒川哲也さん



白田義夫さん

## ご苦労様でした 顧問 後藤卓三

平成16年の代議員会議で3期目に入った西野会長のもと新しい執行部が動き出した。永い間数々の役職を経、幹事長を務めていた山形晴一さん、財務委員長長の長谷川国雄さん、財務副委員長長の荒川哲也さん、監事の白田義夫さんが退任された。永い間ご苦労様でした。

思えば昭和53年、本校の創立100周年の節目を迎えての一連の事業を経、その経過の中から生まれた同窓会の改革への息吹をふまえ、1年間の準備期間をへてその翌年、名称を「知道会」と改めるなど各部門にわたっての改正を行ったのであるが、当時の会長・森元次郎さんから幹事長を仰せつかった私は先ず組織と財務の強化をと考え、大方の同意をいただき支部の結成に乗り出したのであった。その大切な役を引き受けてくれたのが山形晴一さんであった。各地を廻りその地域の同窓会を立ち上げる仕事を熱心にやりとげてくれた。その後は秋田高校同窓会との姉妹締結の責任者として見事にその友好の実をあげたのである。私が会長に就任した平成5年、幹事長の職をお願いしたのであったが、西野会長就任後もその職にとどまり会運営の要としてその責を果たしてきたのである。

長谷川国雄さんは永い間、財務委員長として会の健全な財務の確立のため、会費制度の改正を含めいろいろな細かい部分に至るまで目をくぼり大きな貢献をされ、特に江山閣の建設に当っても細かい配慮と決断の中、その実現に力をつくされたことは忘れられない。

荒川哲也さんも財務副委員長をはじめ執行部の中心の一人として本会の運営のため大きな役割を果たされたことは言うまでもない。

白田義夫さんには監事として、その本業の知識と経験を生かし本会の経理上のよき指導と監査をぜひ永い間していただいた。

また、多くの方々がそれぞれの貴重な時間や能力をこの会の為につくしてくださったことは有難いことである。これからは知道会の流れの中に若い力をどんどん取り入れ、その伝統に磨きをかけその輝きのよりますことを願ってやまない。

## 事務局だより

原油の高値が続いている影響で、石油製品の値段が高くなることが予想されます。すでに灯油・ガソリン等が値上りして、我々庶民の懐を直撃しつつあります。いま地球温暖化防止が叫ばれ、京都議定書もようやく発効し、温暖化対策に本格的に取り組む時でもあります。

我々も少しでも省エネに心がけ、貴重な資源を大切にしたいと思います。一人ひとりが意識をもって実行することが、目的達成の一助となることと信じています。

# 委員会

## 総務委員会

中国や韓国での反日抗議活動が放送され、世の中騒然としています。各製造メーカーが、人件費の安い中国・タイ・ベトナム等へと企業進出して、競争に打ち勝つよう努力しているようですが、邦人の安全対策に政府においてもアジア外交をしっかりとやってもらいたいものです。

さて、3学年の当番幹事制を実施している「会員の集い」も今年で4年目を迎えます。おかげさまで毎回参加者が増え、昨年は200名を超え盛会になりつつあります。

本年も年間の行事計画で11月12日(土)と決定しており、昨年開催の常陽芸文センターが好評でしたので、本年も同会場での開催を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

4月19日には第1回の実行委員会を開催し、具体的な検討をいたしました。詳細は、次回会報にてお知らせいたします。

## 財務委員会

毎回のようにな会費納入のお願いをし、今回は一面の最下段でもお願いしておるところです。今回はお願いするだけでなく知道会の行事の充実が求められているところです。各委員会で知恵を出し合い色々企画立案しておりますが、ご提案、ご要望等お寄せいただければ幸いです。

なお、在校生士気高揚資金という別口座を設けており、下記のように毎年いくつかの学年よりご寄付があり、現役の生徒たちの支援に活用させていただいております。誠にありがとうございます。有効に活用させていただきますのでよろしくお願いいたします。

記

|            |          |
|------------|----------|
| 昭和19年卒業生一同 | 100,000円 |
| 昭和33年卒業生一同 | 200,000円 |
| 昭和39年卒業生一同 | 400,000円 |

知道会親睦委員会は、親睦ゴルフを大洗GCで6月2日(木)に、親睦旅行を平泉方面へ9月11、12日(日、月)に行います。又、11月23日(勤労感謝の日)の祭日にはミニ歩く会を行う予定です。コースは10月の知道会報で詳しくお知らせします。親睦委員会は会員の皆様方の交流を通しての親睦を目的としており、若い世代、又、女性会員と幅広く、より多くの方の参加を期待しております。4月20日の親睦委員会では、会員の家族の方の参加を認める打合せを行いました。又、各行事がマンネリ化しないよう見直し、各担当者を決めました。ゴルフとミニ歩く会は100名以上、旅行には30名以上の参加者になるよう親睦委員会も努力致します。どうぞご協力をお願い致します。

## 親睦委員会

尚、当委員会の行事に対して皆様からのアイデア、ご意見等がございましたらFAXでお寄せ下されば幸いです。

Fax: 029-226-4157 知道会事務局

平成の大合併が全国各地で推進されており、新しい市・町が誕生しております。

知道会会員名簿の発行にはまだ少し時間がありますので、住所変更や住居表示が変わられた方は、是非ご一報いただきメンテナンスをしたいと思います。

次回の会員名簿発行がスムーズに進められるように考えております。

毎回お知らせしておりますが、知道会以外の業者から名簿発行の勧誘が来る事があります。知道会名簿は次回の発行を平成19年に予定しておりますので、十分御注意ください。

連絡先 知道会事務局

Tel 029-226-3960 (月・水・金)

## 名簿委員会

ご参加ください **ゴルフ・旅行・ミニ歩く会** お申し込みは事務局へ

### 第6回知道会ゴルフ大会

昨年度は、大会史上初の日曜日開催でしたが、本年は例年通りの開催です。ご家族の方の参加も歓迎です。

期日 6月2日(木)

会場 大洗ゴルフ倶楽部

競技規定 18ホールストロークプレー(新ペリア方式)

会費 5,000円 プレー費各自負担

### 第11回知道会親睦旅行・歴史と文化の旅

今回は、NHK大河ドラマ「義経」の舞台、奥州の中尊寺と松島海岸を訪ねます。中尊寺では地元ボランティアガイドさんの案内で見学。全行程、大型貸切バス(ベンツ社製・トイレ付)を利用。ゆったりお楽しみください。

期日 9月11日(日)～12日(月)  
1泊2日

### 第2回 OBミニ歩く会

第1回の千波湖一周と笠原水源コースは好評をいただきました。今年度も、ミニ歩く会を企画いたします。今回は、神社、寺、城跡、古徳沼など、天然記念物や史跡の数多い「うりづらロマンロード」をお楽しみいただきます。ふるってご参加ください。

期日 平成17年11月23日(祝)

行程・時間 後日詳細案内

参加費 1,000円(大人のみ)

申込・問合せ先 知道会事務局(月、水、金)

TEL 029-226-3960

FAX 029-226-4157

## 物故 (H16.10.1～H17.3.31)

|          |     |         |
|----------|-----|---------|
| 16.10.11 | 昭13 | 仲 孝之    |
| 16.10.14 | 昭28 | 吉川 善次郎  |
| 16.11.1  | 昭19 | 森山 富士雄  |
| 16.11.13 | 昭30 | 中村 英雄   |
| 16.11.26 | 昭14 | 岡野 繁雄   |
| 16.11.29 | 昭4  | 石島 弘    |
| 16.12.8  | 昭4  | 江幡 正道   |
| 16.12.10 | 昭11 | 海老沢 稔之助 |
| 16.12.10 | 昭26 | 沼尻 直    |
| 16.12.17 | 昭27 | 小室 博之   |
| 16.12.18 | 昭18 | 佐藤 房之   |
| 16.12.31 | 昭29 | 林田 守正   |
| 17.1.9   | 昭25 | 青柳 庸三   |
| 17.2.3   | 昭15 | 後藤 周三   |
| 17.3.8   | 昭12 | 大川 五郎   |
| 17.3.25  | 昭31 | 高橋 三郎   |